

# 大学院健康栄養科学研究科

健康栄養科学専攻 修士課程

Graduate School of Health and Nutritional Science  
Department of Health and Nutritional Science

(仮称・設置構想中)

2024年4月  
開設予定

栄養学・食科学分野の研究者と、  
健康長寿社会に貢献する  
高度専門職業人を養成。

空前の長寿社会を迎えたわが国では、国民の健康を維持・増進し、健康寿命を延伸することが喫緊の課題となっています。「違いを共に生きる」という理念を健康・医療の分野で実現するために管理栄養士をはじめとする専門職養成に力を入れてきた本学では、2024年度より「健康栄養科学研究科」の設置を構想しています。管理栄養士養成課程を持つ食健康科学部<sup>※1</sup>や、地域医療の拠点であるAHSMEC<sup>※2</sup>と連携し、栄養や食を科学し健康の維持・増進に貢献する研究者や、多職種間連携においてリーダーシップを発揮できる高度専門職業人を養成します。

高齢者を対象とした研究経験が豊富な管理栄養士や、20年以上大学医学部に勤務した内科医師など、臨床・研究・教育の実績豊富な専任教員が在籍。高度かつ実践的な研究指導を受けられます。

実績ある  
医療人・研究者が  
指導

多様な  
関心に応える  
8領域

基礎を学んだのち、「生活習慣病」「地域栄養学」「栄養教育論」「応用栄養学」「公衆衛生学」「臨床栄養学」「健康食事学」「口腔健康科学」の8領域からなる「専門中心科目」で、関心に応じて科目を選択し、専門性を深めることができます。

本研究科の特徴

愛知淑徳大学クリニックや健康相談室など4機関からなる愛知淑徳大学 健康・医療・教育センター（通称「アースメック」）を併設しており、臨床データの活用などに関して学生の学修と研究を支援します。

学修と研究を  
AHSMEC<sup>※2</sup>が  
支援

食と栄養に関わる  
研究者・実践者を  
養成

疾病予防や健康寿命延伸のために、栄養や食の役割を科学的に考究しつつ問題を解決できる研究者や、地域が抱える問題を多職種連携の中でリーダーシップを発揮して解決していく実践者を養成します。

※1 健康医療科学部健康栄養学科を改組し、2024年4月に開設予定(設置構想中) ※2 Advanced Health Support, Medical Care, and Education Center

記載の内容は現在構想中の予定であり、変更される可能性があります。



伝統は、たちどまらない。

愛知淑徳大学

## ■ 育成する人物像

長寿社会における健康の維持・増進に寄与できる  
「栄養」と「食」の科学の専門家を育成します。

- ① 疾病予防・健康寿命延伸に貢献する研究者・教育者
- ② 地域社会でリーダーシップを発揮できる高度専門職業人



## ■ 社会人学生への配慮

働きながら学ぶ社会人に配慮した各種制度を導入する予定です。

- ① 夜間・土曜開講、休日集中講義による開講
- ② インターネットによる密接なコミュニケーション
- ③ 春入学・秋入学が選択可能(セメスター制を導入)
- ④ 多様な経歴も評価対象とする社会人入試の実施

この他、長期履修制度の導入を検討しています。

## ■ 開講科目一覧

専門基礎科目	予防医学概論	チーム医療概論
	栄養ケア・マネジメント概論	地域栄養学概論
	在宅ケア・リハビリテーション概論	臨床研究法と医療倫理
専門中心科目	生活習慣病特論	公衆衛生学特論
	生活習慣病演習Ⅰ～Ⅳ	公衆衛生学演習Ⅰ～Ⅳ
	地域栄養学特論	臨床栄養学特論
	地域栄養学演習Ⅰ～Ⅳ	臨床栄養学演習Ⅰ～Ⅳ
	栄養教育論特論	健康食事学特論
	栄養教育論演習Ⅰ～Ⅳ	健康食事学演習Ⅰ～Ⅳ
	応用栄養学特論	口腔健康科学特論
応用栄養学演習Ⅰ～Ⅳ	口腔健康科学演習Ⅰ～Ⅳ	
研究科目	栄養科学特別研究Ⅰ～Ⅳ	

## ■ 入試制度

入学者試験種別		試験の内容
一般入試		書類審査 筆記試験 面接
特別選抜入試	社会人入試	
	外国人留学生入試	
在学生内部推薦		

## 設置概要(予定)

修業年限：2年  
開設時期：2024年4月  
入学定員：6名  
開設場所：愛知淑徳大学 長久手キャンパス  
学 位：修士(健康栄養科学)(Master of Science in Health and Nutritional Science)  
学 費：入学金を含めた初年次納入金：850,000円